



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学映像・現代文化論学会彙報
Citation	層 : 映像と表現, 17, 183-183
Issue Date	2025-03-07
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/94239
Type	other
File Information	17_11_p183.pdf



北海道大学映像・現代文化論学会 彙報

◎主催 北海道大学大学院文学研究院 映像・現代文化論研究室

◆第八回 北海道大学 映像・現代文化論学会大会

◎日程 二〇二四一月三〇日(土) 九時三〇分～一七時四〇分

◎方式 対面

◎会場 北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟W四〇九会議室

～プログラム～

・総合同会 応 雄

・開会の辞 押野 武志

○研究発表

少女マンガにおけるレズビアン表象の変遷

——森永みるく『くちびるのためにきさくらいろ』を例として

博士後期課程 郭 如梅

怪奇をめぐる科学言説

——江戸川乱歩・小酒井不木「ラムール」を手がかりに

博士後期課程 宮崎 遼河

武田泰淳「審判」における〈記述行為〉の多層性

博士後期課程 趙 文軒

監督兼俳優としてのバーバラ・ローデン

——『ワンダ』(Wanda, 1970)における演技とパフォーマンスタについて

北海道大学大学院文学研究院専門研究員 堅田 諒

「レール」から「曠野の中」へ

——北川冬彦の長編叙事詩について

博士後期課程 寺本 真太郎

青来有一「ジェロニモの十字架」における記憶と語り

修士課程 パラギナ・アレクサンドラ

「手紙」を読み上げる時

——『恋のエチュード』(一九七二)を中心に

修士課程 易 雨菱

「縫合」のパスペクティブ

博士後期課程 三浦 光彦

○講演

〈映画と写真〉再考

講師紹介 川崎 公平
関西大学文学部教授 堀 潤之

・閉会の辞

水溜 真由美

(肩書きの記載のないものは、映像・現代文化論研究室教員)